



きこえとことばの教室だより



武蔵村山市立第九小学校 校長 吉成 かおる
令和8年3月9日(月)NO.5 きこえとことばの教室

今年度もありがとうございました

梅の花も満開となり、日ごとに春めいてまいりました。日頃より通級指導への御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。

本年度は10月に関口裕昭先生をお迎えし、発達性読み書き障害についての講演会を開いたり、市内の教員向けに吃音についての理解研修を行ったりと、大人の理解啓発にも力を入れてきました。来年度も、すべての子供たちが安心して生活するための基盤づくりに努めてまいります。

最後の教室だよりでは、これまで吃音グループで学んできた高学年児童が書いた「下級生に向けて伝えたいこと」や、児童の振り返りや保護者からの声を紹介いたします。



令和8年度 1学期の主な予定

- * 4月27日(月) 通級指導開始
 - 5月1日(金) 離任式のため午後の通級はお休み
 - 5月18日(月)
~29日(金) 市内相談週間のため通級はお休み
 - * 7月10日(金) 1学期通級終了
(9月1日(火) 2学期通級開始)
- ・通級の曜日と時間は、各担当者と調整いたします。
・予定は変更となる可能性があります。

今年度も、きこえとことばの教室に関して、御理解・御協力等ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願ひします。

令和7年度 通級児童・保護者の声

<高学年 Aさん>

僕は、友達に「そのしゃべり方なに？」と聞かれたときに、「吃音だよ。あ、あ、あ、とか言葉が詰まるんだよ」と吃音のことを1から説明するようにしていました。説明すると、友達は分かってくれました。勇気は必要だけど、自分の吃音のことを友達に聞かれたら伝えたと理解してくれるからおすすめです。自分に合った方法が見つけれられると良いと思います。

グループ活動で他の児童に向けてメッセージを読みました。

<高学年 Bさん>

僕はきこえとことばの教室に1年生から通っていました。僕は話すことが苦手で、話していると、つまったり、あああのようなくりかえしがおこることがあります。

僕はきこえとことばの教室でいろいろなことを学んできました。たとえば、100人に1人が吃音になり、そんなにめずらしくないということ、吃音の人でも話す仕事をやっている人がいるということなどです。(中略)

最後にみなさんに伝えたいことがあります。別に吃音は気にしなくてもいいです。気にしてもいいですけど、気にしすぎるのはだめです。気にしすぎると、だんだん自分の吃音がいやになって自分を低評価しすぎてしまい、気持ちが落ち込んでしまうことがあるからです。だから気にしすぎないようにしてください。

<中学年 Cさん>

ピアノが弾けるようになりたくてたくさん練習をしました。先生と発表の予定を考えたり、招待状を書いたりすることが楽しみです。みんなに聴いてもらいたいので目標にして頑張ります。やりたいことを自分の言葉で伝えることができてよかったです。

<中学年 Dさん保護者>

毎週、子供が楽しく学んでいました。何よりもきこえとことばの先生と担任の先生のお二人がとても子供のことを理解しながら、素晴らしい指導をしていただきましたこと、本当にありがたく思います。子供も楽しみに通っていました。今年度のことを土台にこれからもがんばっていけるよう願っています。